

展葉期の防除及び今後の管理について

福光フルーツ生産者協会
福光農業協同組合
富山県砺波農林振興センター

1 概況

3月27日に新潟地方気象台から発表された気象予報では、向こう1ヶ月は平均気温が高い確率が50%と予想されています。

富山県果樹研究センターでは「ふじ」の開花始め(※1)を4月20～21日と予想しており、前年より3～4日遅く、平年より1～2日早い見込みです(3月25日時点)。

なお、開花時期は今後の気象条件や地域によって大きく変動する可能性があるため、生育状況をこまめに観察し、今後のせん定枝処理、防除等が遅れないよう、計画的に作業を進めてください。

※1：連続して1～2輪開花する最初の日

2 防除について(ふじ基準)

展葉期の防除は、越冬したハダニ類の密度低減に有効です。特に前年ハダニ類の発生が多かった園地では確実に実施してください。

薬剤は、散布ムラの無いよう、ていねいに散布(※2)してください。

※2：農薬散布時は周囲の他作物や住宅等への飛散防止に努めてください。特に通学路に面した園地では、登下校時の時間帯等、十分注意してください。

散布時期	対象病害虫	散布薬剤	使用 倍率	100L 当たりの薬量
展葉期 (発芽後3週間まで)	ハダニ類	トモノールS(※3)	200倍	500ml

※3：散布時期が遅れると薬害を発生させる恐れがあるので、生育状況をこまめに観察して散布してください。また、散布直後の降雨は効果の低下につながるので注意してください。

3 その他(耕種的防除)

せん定後の枝の切り口には、トップジンMペースト等を塗布して切り口を保護してください。

また、発芽期頃までに、粗皮削り及び、輪紋病の発生源となる「いぼ皮病斑」の切除・削り取りを行ってください。枝を切除した切り口や、削って傷口ができた場合は必ずトップジンMペースト等を塗布してください。

●脚立での作業や、農業機械での作業時等の作業安全対策を徹底し、農作業事故発生防止に十分努めてください。